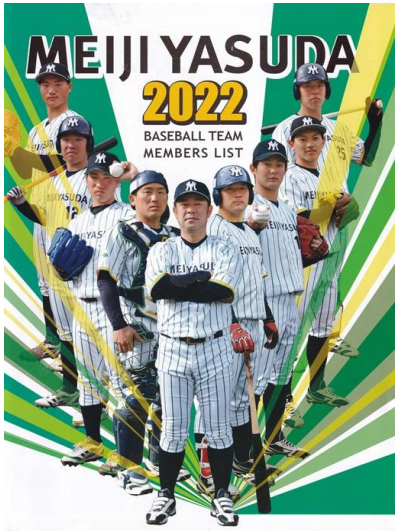


「つちだの独り言」

## 第 93 回都市対抗東京都第四代表決定戦 セガサミー6 対明治安田生命 0 完敗

明治安田生命は先発投手を誤ったか？ 大事な代表決定戦に実戦経験不足の新人



投手を先発は試合前から元監督をはじめ周りの OB から心配の声が上がる。その要因はコントロールと経験不足が懸念。

初回先頭打者にボールが先行結果 3-2 ボールから四球を出した。あと四球と 2 安打で 2 点先行される

(1 回 2 失点)。二人目の三宮も 1 四球 3 安打で 3 点早くも 2 回(1 回 3 失点)で 5 点を献上。3 人目の大久保はベテランの

味を出し 3 回～6 回まで 5 安打されながら要所を抑え失点無し好投するも 7 回に 2 安打され 1 得点を与えた(4・1/3 回 1 失点)。3 人目の森井は 2・2/3 回を 1 安打失点なしと好投する。15 安打はあまりにも打たれすぎ。投手の立ち直りを期待する。

前半の 5 失点が打撃陣の大きな負担となり 7 安打するもチャンスに 2 併殺打で無得点に終わった。本大会の明治安田生命は投手力に不安を抱え戦った。打撃陣も平均 7 本の安打を打つが長打が少なくチャンスに打点なく繋ぐ打撃が見られなかった。

セガサミー	2	3	0	0	0	0	1	0	0	6
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
明治安田生命	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

セガサミー 館・伊波・石垣 -吉田

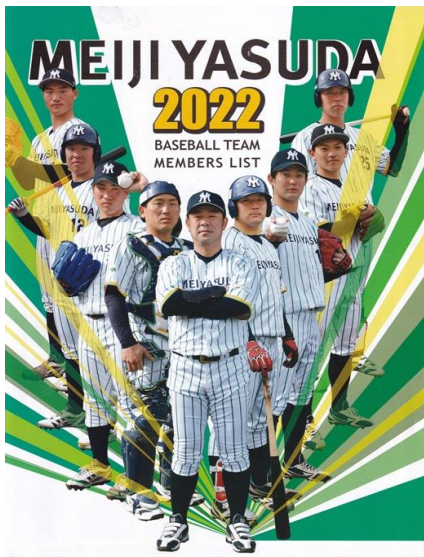
明治安田生命 高杉・三宮・大久保・森井 -森川・道端

二塁打 黒川・植田 以上セガサミー

(選手敬称省略)

2022 年 6 月 9 日

土田唯雄



「つちだの独り言」

## 第 93 回都市対抗東京都第四代表決定戦準決勝

### JP アセット証券に 3 対 2 で辛勝

#### 継投ベテラン大久保投手 4 回ノーヒットの好投

明治安田生命の先発石毛投手は 4 回表 1 死 2 塁(内野安打・盗塁)から 4 番に 2 ボールからの 3 球目をレフトスタンドへ同点 2 ランを打たれる。5 回～8 回被安打 0 の大久保投手好投。9 回から中崎投手が三者凡退に抑え辛うじて 3 対 2 で第四代表決定戦に駒を進めた。

打撃陣は 3 回裏 7 番先頭打者木田選手センター前ヒット、8 番森川選手送りバンド成功 1 死 2 塁先取点のチャンスに 9 番鈴木選手レフト前に先取点となるタイムリーヒットその間鈴木選手は 2 塁へ 2 死となり 2 番新城選手レフト前タイムリーで 2 塁走者ホームへ駆け抜け追加点。4 回 3 番伊藤選手内野安打で出塁するも 4 番小川選手ショート併殺打 5 番森選手レフト前で繋ぐも 6 番高瀬選手三振に倒れる。以降 5～6 回ヒットは打つが後続打ち取られ得点ならず。JP アセット証券門間投手に抑えられ追加点無く 7 回 1 四球ショートエラーで無死 2・1 塁のチャンスに森川選手バンド失敗 1 死 2・1 塁 9 番鈴木選手レフト前ヒットでつなぎ 1 死満塁のチャンス 1 番福岡選手浅いレフトフライで 2 死満塁 2 番新城選手 3 ボール 2 ストライクからの 8 球目ボールを選んで押し出しで勝ち越しの 3 点目。

9 回中崎投手が締め 3 対 2 の勝利。3 年ぶりに代表決定戦へ進出。代表決定戦は 6 月 7 日(火) 大田スタジアム 13 時試合開始予定。対戦相手未定

JP アセット証券	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
明治安田生命	0	0	2	0	0	0	1	0	X	3

バッテリー

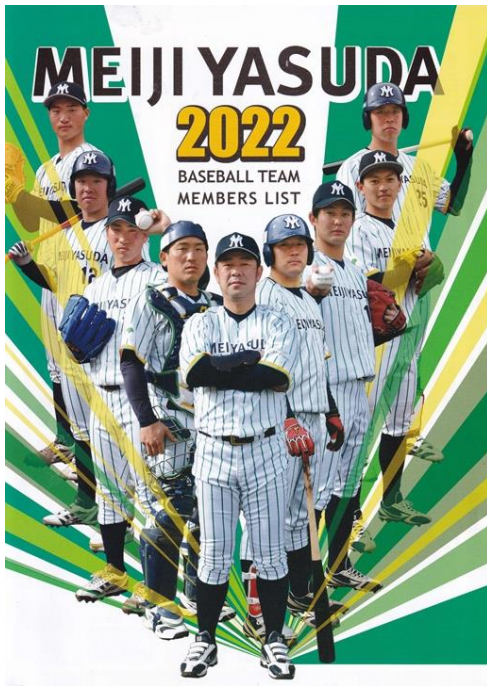
JP アセット証券  
明治安田生命  
本塁打

●門間(6 回 2/3 失点 3)・小田川(1 回 1/3)―広川  
石毛(4 回失点 2)・○大久保(4 回)・中崎(1 回)―森川・  
永井(JP アセット証券)

(選手名敬称省略)

		打者	打数	安打	打点	三振	四球	投手名	イニング	被安打	四球	獲三振	失点	自責点
1	一	福岡	4	0	0	0	0	石毛	4 回	2	1	1	2	2
2	二	新城	3	1	2	0	1	大久保	4 回	0	1	3	0	0
3	右	伊藤	4	1	0	1	0	中崎	1 回	0	0	1	0	0
4	指	小川	4	1	0	0	0	計	9 回	2	2	5	2	2
5	左	森	4	2	0	0	0							
6	遊	高瀬	3	0	0	2	1							
7	三	木田	3	2	0	0	0							
8	捕	森川	1	0	0	0	0							
9	中	鈴木	3	2	1	0	0							
		計	29	9	3	3	2							

## 第 93 回都市対抗東京都第二代表決定戦 2 回戦



### 古豪 NTT 東日本と対戦

5月31日(火)大田スタジアム午後1時試合開始予定

著者は大会前の予想でNTT 東は日本第一代表筆頭と予想したがダークハウス驚宮戦でミスから打ち負け番狂わせ。

受けて立つ明治安田生命は何が何でも今年は東京都代表枠を勝取らなければならない意地がある。

勝敗の鍵を握るのは投手陣特に先発投手にかかる比重は大きい。まずはインングで複数点を防ぐことが第一。無駄な四球・四死球は避ける。投手有利なカウントから痛打を避けてほしい。2ストライク後の被安打が多くみられる。

先発は最小点で5回までは投げ以降緊張感をもって投げ続けてほしい。著者の心の中には三人が浮かんでいるがピッチングコーチに一任する以外ない。いずれが先発してもあなた

の力投を 25000 人の明治安田生命野球部応援ファンが期待しております。頑張れ投手陣。

次に打撃陣はヒットの数は相手チームにいずれの試合でも遜色ない攻撃が出来ていると思う。

しかし適時打となると不安な面が多々見受けられた。特に送りバントの失敗が各試合多々見受けられた。チャンス時の見送り三振は攻撃の芽を潰し兼ねない。積極性をもって好球必打と強気の打撃を期待し繋ぐ意欲を強く持って攻撃してください。第90回(令和1年)都市対抗出場時は積極攻撃が功を得た。最近の試合で感じるのは守備面で若干集中力が欠けエラーもしくはそれに準じる守備が再三見受けられた。緊張感をもって守ってほしい。(NTTも驚宮戦でエラーで負けた?)

チームスローガン『この一瞬に架ける』投手は一球の重み、打者は好球必打、守備は全力を尽くし投手をフォローしてください。

個人名を挙げて恐縮ですが好打者S選手・I選手ベンチでなくグラウンドで活躍してください。昨年度の活躍を思い出してください。

監督コーチは選手に自信を与え積極的な攻撃と確実な作戦で勝利をもぎ取ってください。

**31 日の NTT 東日本戦勝利は代表獲得のへの近道である。**

**頑張れ明治安田生命野球部。頑張れ頑張れ明治安田生命。**

2022年5月28日

土田唯雄

「つちだの独り言」

## 第 93 回都市対抗東京都第二代表決定戦二回戦

第二代表を賭けて NTT 東日本と熱戦を繰り広げるも惜敗

チャンスに決定打不足で 4 対 2 一歩及ばず

試合は前半の失点(初回 2 死 2 ストライクから 2 失点・2 回も 2 死から 1 失点)が響き中盤反撃するも 4 回・6 回 4 番指名打者小川の適時打で 2 点返す。5 回 1 死 2・1 塁のチャンスに 9 番森川サード併殺打でチャンスを潰す。8 回 2 死 2・1 塁同点の打席に 4 回・6 回に好打の小川が三振 9 回 1 死 2・1 塁のチャンスも後続が断たれた。

第四代表決定戦へ懸けて 6 月 3 日 JP アセット証券と戦い勝利で第四代表決定戦に駒を進める。この一戦が天下の分れ道。

戦いを顧みると 5 回のチャンス森川にバンドはなかったか? 2 死 3・2 塁として一打同点をの考え 8 回先頭打者森川に伊藤を代打に送ることならば 5 回にバンドまたは代打が考える。バンドは消極的な攻撃ではなく点を獲りに行く攻撃的な作戦でると考えられ。初戦の JR 戦でも JR は積極的にバンドを仕掛けてきた。NTT 戦でもバンド攻撃があった野球は点取りゲームであることを明治安田は考えるべきである。JR 戦・NTT 戦も 2 死からの失点の防御とチャンスに繋がる打撃が望まれる。第四代表決定戦は思い切り戦い 25000 人のファンの期待に応える様検討を祈る。

NTT 東日本	2	1	0	0	0	0	1	0	0	4
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
明治安田生命	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2

NTT 東日本 稲毛田(4 回 1/3)・○沼田(3 回 1/3)・多田(1 回 1/3)―保坂

明治安田生命 ●高杉(3 回)・大久保(3 回 2/3)・三宮(1/3)・森井(1 回)・中崎(1 回)―森川・道端

二塁打 中村・下川(NTT 東日本)・新城(明治安田生命)

(敬称省略いたしました。)

2022 年 6 月 1 日

土田唯雄



## 第93回都市対抗東京都第二代表決定戦

今日第二代表決定一回戦を TOKYO METS と二回戦に向かって 6対4 で辛勝。次回 NTT 東日本と対戦

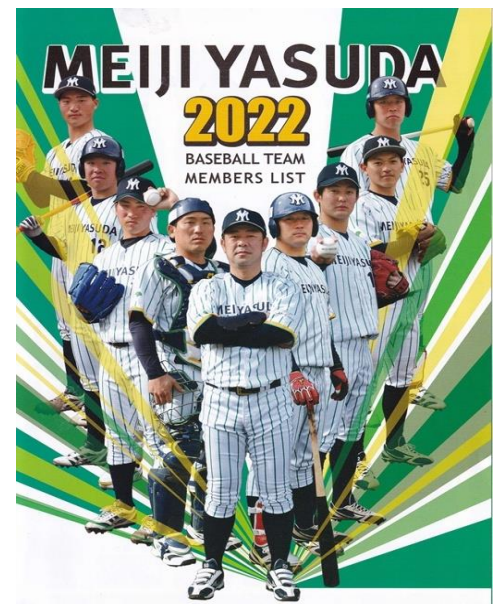
明治安田生命は 3 回表内野安打の鈴木が盗塁犠右飛で 2 死 3 塁から木田のレフト線 2 塁打で先ず先取点。

明治安田生命の先発小玉は 3 回に 2 アウトから 4 番にレフトへ逆転の 2 点適時打を打たれる。

5 回表明治安田生命は 1 アウト 3・2 塁から 3 番木田がセンター前に 2 点適時打 3 対 2 の逆転。しかし 4 回から継投の小林が 5 回レフト森のエラーで 1 アウト 3 塁から内野安打され 3 対 3 の同点。6 回表明治安田生命は 2 四球で 1 死 1・2 塁から 1 番福岡がレフトへ逆転適時打で逆転 4 対 3 とする。6 回裏先頭打者にレフトスタンドへ本塁打 4 対 4 の同点にされる。一進一退のゲーム進行で嫌な感じで心配。

しかし 8 回表相手投手が制球を乱し 4 四球押し出しで 5 対 3 と逆転。9 回表先頭打者 4 番小川がセンターへヒット(代走伊藤)次打者高瀬の送りバンドで 1 死 2 塁、5 番高瀬がライト線へダメ押しタイムリー二塁打で 6 対 4 とリード。明治安田生命は 8 回 9 回を石毛・森井・中崎三投手の継投で相手の反撃を断った。

今日のゲームは苦しい試合展開となったが打撃陣の繋ぐ打撃が効果的であった。守備陣の二つエラーが投手陣を苦しめた。



明治安田生命	0	0	1	0	2	1	0	1	1	6
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
TOKYO METS	0	0	2	0	1	1	0	0	0	4

### バッテリー

明治安田生命 小玉(3回)・小林(3回)・○石毛(1・1/3回)・森井(2/3回)中崎(1回)一道端・森川

TOKYO METS 樫尾・ジョセフ・亜記希羅・●植田・若松・小野寺

本塁打 小野寺(TOKYO) 二塁打 木田・森 2 (明治安田)

(選手名敬称省略いたしました。)

試合経過及び選手成績は野球部本郷マネージャー発信の明和会ホームページをご覧ください。

ください。

2022年5月26日

土田唯雄

(「つちだの独り言」)

## 第 93 回都市対抗野球大会東京都代表決定戦

### 一回戦 JR 東日本戦三宮投手 5 回 2/3、6 失点打たれる

試合は明治安田生命期待の三宮が先発初回 1 安打されるも後続を断ちますまずの出来も 2 回に 5 番 6 番に連打され 7 番に死球を与え無死満塁の大ピンチ 8 番右飛犠打で先取点なお 1 死 2・1 塁のピンチは続く 9 番を内野ゴロに抑え 2 死となり 1 番 2 ボール 2 ストライクから左中間に 2 点二塁打でこの回 3 点献上。3 回～5 回まで抑えるが 7 回先頭打者を内野安打出塁され犠打とセカンドフライで 2 死をとるも四球を与え 2 死 2・1 塁代打に 1 ボール 2 ストライクからレフトスタンドへ 3 ランを与える。2 回の 2 点二塁打も 2 ボール 2 ストライクから打たれる。2 ストライク後の配球・コース・高低の決め球が勝敗を決した。従来の三宮ならば抑えていたと思う。

大久保に繋ぐ(三宮 5・2/3 回)大久保 1・1/3 回を 1 安打抑え、森井(1 回 1 安打)に継投 9 回中崎投手(1 回 1 安打)

打撃陣は 6 回 1 番福岡・2 番井村・3 番新城と 3 連打 1 死満塁 4 番指名打者小川右飛犠打で 1 点後続木田三振でチャンスを生かせず残念

7 安打するもチャンスに適時打なし、JR は得点チャンスに三塁打・本塁打で追加点が効果的な攻撃だった。

JR 東日本	0	3	0	0	0	3	0	0	0	6
イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
明治安田生命	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

バッテリー

JR 東日本 小谷野・川西・市川・西居一渡辺

明治安田生命 三宮・大久保・森井・中崎一道端・森川

本塁打 小椋 三塁打 杉崎 以上 JR 二塁打佐藤 JR 森 明治安田

今日のゲームは三宮を 5 回まで 6 回から大久保へ継投ならばと疑問が残る

先にも記したがチャンス時に適時打が打てない課題が解決されていない

投手陣の頑張り と 打撃陣の効率の良い攻撃がなければ代表の枠は舞い込んでこない。

監督・コーチ・選手諸君の奮起を期待する

(選手名は敬称省略いたしました。)

スナップ写真は別途添付する

2022 年 5 月 25 日

土田唯雄